

### 将来の夢—世界の人々を楽しませる作家

Oneness Family School 三年 吉永 美貴子

世界中の人に読まれる小説作家になり、ノーベル文学賞をとることが私のゆめです。

私は今、父の仕事でアメリカのワシントンD.C.に住んでいます。この町には世界中の人が住んでいて、私の通っている学校にも、六十か国から来た生徒が通っています。私の友達も、アメリカ、イタリア、アイルランド、ノルウェー、ブラジル人がいます。みんなそれぞれ持つてくるランチもちがうし、ファッションや考え方もちがいます。最初は友達ができるか心配でしたが、今はみんなと仲良くできています。友達ができしたのは、他の人にやさしくしてあげること、折り紙などの日本の文化を教えること、相手の言葉を覚えて話すことなどです。英語だけでなく、フランス語の授業をとっていて、七か国語であいさつできます。いっしょに楽しむことをしていれば、国はちがっても仲良くなれるということ

とが分かりました。私は、世界中の人がいっしょに楽しめる話を書いて、笑顔にしたいと思うようになりました。世界中を旅しながら冒険の物語を書いて、みんなをワクワク、温かい気持ちにしたいと思います。

ノーベル賞を目標にしているのは、ノーベルが世界の平和のために賞をつくったこと、マザー・テレサがノーベル平和賞を受賞したことを、伝記を読んで知って、世界の人に認められるようになりたいと思ったからです。作家になるためのライフプランはむずかしくて、なやみません。例えば宮沢賢治や手塚治虫は家族の病気や戦争でたくさん苦労しているからです。でも二人とも、いいものを書くうと一生けん命に頑張つて大変な経験も作品にいかしていると思います。私のライフプランは世界の人に伝えられるように、アメリカにいる間にいろいろな国の友達をつくること、世界中の本をたくさん読むこと、海外の大学院に行つて勉強することです。調べてみて、本、旅行、留学にはたくさんお金がかかることが分かり、ためになりました。

### 吉永 美貴子のライフプラン

将来なにになりたいか? **世界の人々を楽しませる作家**  
その理由: **わらっている人を見るとうれしくなるから。**

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2021年	9(小3)	アメリカでいろいろな国の友達をつくる。学校で社会・文化・英語・フランス語の勉強をする。	習いごと代、学費、本代
2022年	10(小4)	勉強をがんばる。アメリカで話せるように勉強する。	旅行代
2023年	11(小5)	今は大学まで小学校に復学する。	読書、書写、作文の練習(一筆)
2024年	12(小6)	学校の勉強をがんばる。	
2025年	13(中1)	中学校に進学する。本を書き始める。	
2026年	14(中2)	フランスやイタリアなど家族で旅行する。	
2027年	15(中3)	漢検・英検を受ける。	検定費
2028年	16(高1)	本を書いてコンクールに応募する。	パソコン代
2029年	17(高2)		じゅく、じゅく代
2030年	18(高3)		
2031年	19(大1)	大学に入る。ペンクラブに入る。	
2032年	20(大2)	アルバイトをして留学のためのお金、旅行のためのお金をためる。	
2033年	21(大3)	芥川賞をとる。	
2034年	22(大4)	卒業論文、大学卒業のための勉強。	
2035年	23(大学院1年)	外国の大学院に入る。	留学費
2036年	24(大学院2年)	国際ペンクラブに入る。	
2068年	56	世界の人々から愛される作家になり、ノーベル文学賞をとる。	生活費、旅行代

※最後の行は、何歳の時にどうなっていたか、自分で好きな年を入れてみましょう!